

氏名：刀祢 達哉（とね たつや）

国際会議名称：NOLTA2024(The 2024 International Symposium on Nonlinear Theory and Its Applications)

開催日：2024/12/3-6

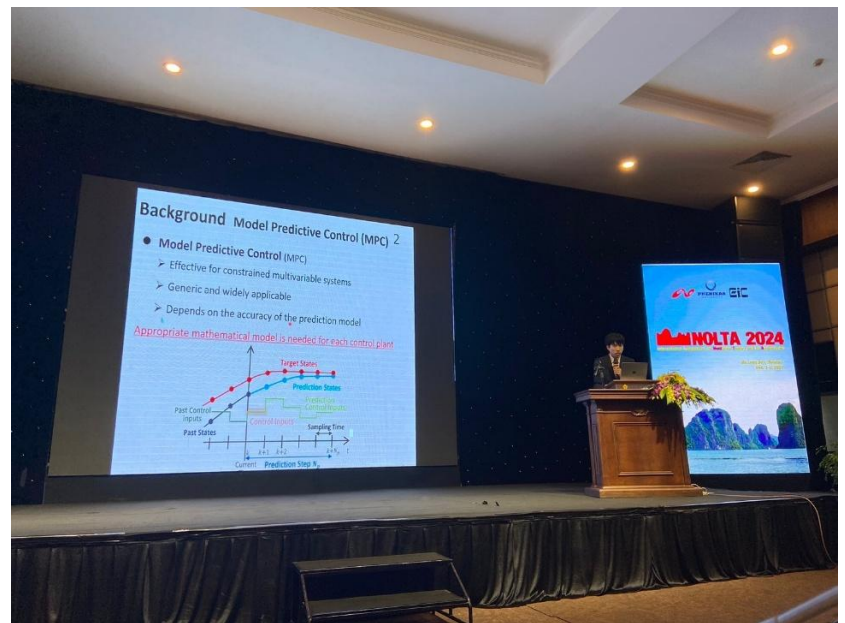
開催場所：ベトナム・ハロン湾

=====

工学研究科 電気電子系専攻 電気電子システム工学分野 1 年の刀祢達哉と申します。2024 年 12 月 3 日から 6 日にかけて、ベトナム・ハロン湾にて開催された国際会議 NOLTA2024 に参加しました。



NOLTA2024 の幕と私



発表中の様子

私は「A Case Study in Selection of Observables for Koopman Model Predictive Control」というタイトルで発表しました。内容はモデル予測制御という制御手法に焦点を当てています。非線形方程式をクープマン線形化という手法で線形モデル化し、得られたモデルをモデル予測制御に適用することで、その手法の妥当性を比較検討するというものです。

私自身初の海外旅行であり、出発当日までは楽しみと不安が入り混じった気持ちでいました。特に英語での口頭発表であること、そして英語での質疑応答があることが非常に不安でした。当日まで、所属研究室の全体ゼミの時間等を割いていただき、発表練習を繰り返しました。

学会全体の流れとしては、各日初めに Plenary Talk という全体が参加するセッションがあり、その後いくつかの部屋に分かれて各テーマのセッションが行われるというものでした。

自分の研究に関連しているものや興味があるセッションを聴講しました。自分の発表が学会最終日ということもあり、他の方の発表を聴講しながら、自分の発表の流れをイメージしていました。

最終日、自分の発表の出番が回ってきました。自分のセッションは多くの方が参加しており、緊張感のある中での発表となりました。発表は練習してきた通りに行うことができ、研究内容を適切に伝えることができました。内容は全て伝えることができたのですが、緊張から少し早口になってしまい、想定より 2 分弱早く終わってしまいました。不安であった質疑応答については、英語の質問内容自体は聞き取ることができたのですが、明確な回答を用意することができず「現時点では明確なことはお話しできません」と回答しました。自分の研究がより進展していれば自信をもって答えることができた内容なので、悔しく感じました。セッション終了後に質問していただいた方とディスカッションし、内容に対するコメントをいただくことができました。

初めての国際学会の参加、また個人的に初めての海外旅行ということで、数多くの貴重な経験をすることができました。今後、この経験を糧に研究に一層励んでいきたいという強い気持ちを抱きました。

最後になりますが、今回の国際会議参加にあたりご支援いただきました大阪公立大学電気クラブの皆様へ、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



ホテルから撮影したハロン湾の様子